

外傷センター

■土田 芳彦 副院長，外傷センター長

日本外傷学会専門医，日本整形外科学会専門医，
日本救急医学会専門医，日本手外科学会専門医，
日本外傷学会評議員，
日本マイクロサージャリー学会評議員，
日本骨折治療学会評議員，
北海道整形災害外科学会評議員，
AO Japan chapter理事，臨床研修指導医

■村上 裕子 部長，副外傷センター長

日本整形外科学会専門医

■白川 哲也 医長

日本整形外科学会専門医

■綾部 真一 医長

日本整形外科学会専門医

■西田 匡宏 医長

日本整形外科学会専門医，臨床研修指導医

■長谷川 真之

日本整形外科学会専門医

■鈴木 崇史

■対比地 加奈子

■佐藤 亮

■佐々木 淳

■浦山 将司

■吉田 直樹

はじめに

札幌の地から鎌倉へ来て早3年が経過しました。
2015年は地下専用手術室3室の運用開始，東京西徳洲
会病院外傷センターの開設，外傷センター主催の骨
折コースの開催，また日本各地での重症四肢外傷セ
ミナー開催，神奈川周辺からの診療依頼などなど慌
ただしい1年でした。また，外傷センタースタッフの
各先生には各々1～2編の論文を執筆いただき，来年

への足掛かりとなりました。

平成30年の「外傷センター棟」竣工まであと2
年余りです。しかし「ハコモノ」が出来たとしても，
システムが不十分であったり，スタッフが一流でな
ければ「存在価値」がありません。本年度以降に私
が力を入れるところは「診療を阻害する忌まわしい
慣習を排除し一流のシステムを構築すること」，「外
傷医療マニュアルを策定しスタッフ全員が理解・実
践すること」，そして「センター全体で25～30編以
上の論文を発表すること」です。

また本年は，私自身が「重症四肢外傷治療マニ
ュアル」を出版するべく尽力すべき年です。日本各地
の外傷整形外科医に分担執筆して頂いている部分も
多々ありますが，書物の統一性を出すために大胆に
修正を加える予定です。具体的症例を基にした解説
をふんだんに取り入れ，「日本重度四肢外傷医療」
のバイブルといたく存じます。

ところで，私は以前より「立川談志」に関する書
物や映像を鑑賞し，「外傷整形外科の世界」は「落
語の世界」に似ていると感じていました。落語の一
門には真打，二つ目，前座などの階層がありますが
師匠が認める基本を本当の意味で習得し，かつそれ
を自分の技として応用できなければ二つ目にはなれ
ません。外傷整形外科医も同様であり，二つ目は自
分の医療を他の医師へ伝える講演が出来ることが必
要です。さらに真打になるには弟子を取り，育てる
だけの力量が認められなければならないのです。

この施設の目的は，多くの「真打」を生み出すこ
とに他なりません。

診療実績 2015年

■全手術件数

2015年 1,496件

■手術症例数

特殊領域	81件
手指切断	22件
指尖部損傷	6件
挫滅手	5件
上肢major切断	2件
四肢鋭利神経血管損傷	4件
上肢重症開放骨折	1件
下肢重症開放骨折	8件
四肢骨髓炎	2件
多発外傷／多発骨折	1件
ヘリコプター搬送	17件
四肢軟部組織欠損	12件
手指感染	1件
小児骨折／上肢	53件
鎖骨骨折	7件
上腕骨近位端骨折	3件
上腕骨顆上骨折	13件
上腕骨外顆骨折	6件
Monteggia骨折	1件
前腕近位部骨折	14件
前腕骨骨幹部骨折	8件
前腕骨遠位部骨折	11件
手舟状骨折	1件
手指骨骨折	3件
小児骨折／下肢	10件
大腿骨骨幹部骨折	1件
大腿骨遠位部骨折	1件
脛骨骨幹部骨折	1件
脛骨遠位部骨折	6件
足部損傷	1件

成人手	99件
成人上肢	241件
成人下肢	534件
骨盤・脊椎	23件

■ヘリコプター搬送 17件

手指切断	10件
挫滅手	2件
上肢major切断	1件
四肢鋭利神経血管損傷	1件
上肢重症開放骨折	1件
下肢重症開放骨折	2件

学術業績

(1) 学会発表

1. 佐々木淳：上肢major切断再接合術における一考察－骨短縮は初回手術時に施行することが機能再建への鍵である．第29回日本外傷学会，札幌，2015，6.
2. 白川哲也：足部開放骨折に対する逆行性腓腹動脈皮弁と遊離前外側大腿皮弁の検討．第55回関東整形災害外科学会，埼玉，2015，3.
3. 白川哲也：掌側ロッキングプレート固定術後に発症した長母指伸筋腱断裂の検討．第41回日本骨折治療学会，奈良，2015，6.
4. 鈴木崇史：高齢者大腿骨転子部骨折に対するロングネイルの適応．第41回日本骨折治療学会，奈良，2015，6.
5. 対比地加奈子：Vancouver typeC 大腿骨ステム周囲骨折の治療戦略．第157回神奈川整形災害外科学研究会，横浜，2015，5.
6. 対比地加奈子：下腿三分枝動脈損傷を伴う脛骨

-
- 近位部開放骨折の1例. 第29回日本外傷学会, 札幌, 2015, 6.
 7. 土田芳彦: 機能再建型「外傷センター」における重症四肢外傷治療. 第29回日本外傷学会, 札幌, 2015, 6.
 8. 土田芳彦: 橈骨遠位端骨折typeC3の治療. 第41回日本骨折治療学会, 奈良, 2015, 6.
 9. 土田芳彦: 重症外傷診療のイノベーションを目指して—重症四肢開放骨折治療の理想的なあり方とは? 第43回日本救急医学会, 埼玉, 2015, 10.
 10. 土田芳彦: 新規整形外科外傷センターにおける下腿重度開放骨折の治療. 第42回日本マイクロサージャリー学会, 埼玉, 2015, 11.
 11. 西田匡宏, 土田芳彦, 佐藤亮, 対比地加奈子, 鈴木崇史, 新井学, 小島安弘, 綾部真一, 伴光正, 白川哲也, 村上裕子, 松村福広: 大腿骨頸基部骨折後遷延癒合に対する外反骨切り術の1例. 第55回関東整形災害外科学会, 埼玉, 2015, 3.
 12. 松村福広: 【パネルディスカッション】高齢者骨折のトラブルと治療戦略—大腿骨インプラント周囲骨折. 第41回日本骨折治療学会, 奈良, 2015, 6.
 13. 松村福広: シンデスモーシス損傷を伴った足関節骨折に対するZip Tightの使用経験. 第41回日本骨折治療学会, 奈良, 2015, 6.
 14. 松村福広: 四肢長管骨開放骨折の全国的症例登録 (DOTJ). 第29回日本外傷学会, 札幌, 2015, 6.
- (2) 著書・総説
1. 土田芳彦. 【最新・重症開放骨折の治療】治療の標準化を目指して 第1回急性期における治療 (1) 整形外科Surgical Technique 5 : 85-89, 2015.
 2. 土田芳彦. 【最新・重症開放骨折の治療】治療の標準化を目指して 第3回急性期における治療 (2) 整形外科Surgical Technique 5 : 343-347, 2015.
 3. 土田芳彦. 【骨折治療の真実】日本の外傷教育・治療はここがダメだ—私が「整形外科外傷センター」を構築する理由 Bone Joint Nerve 5 : 877-879, 2015.
 4. 土田芳彦. 【最新・重症開放骨折の治療】治療の標準化を目指して: 第5回骨欠損再建のあり方 整形外科Surgical Technique 5 : 598-603, 2015.
 5. 土田芳彦. 【最新・重症開放骨折の治療】治療の標準化を目指して: 第8回トラブルへの対処法 整形外科Surgical Technique 6 : 218-223, 2015.
 6. 松村福広. 大腿骨骨幹部骨折 整形外科Surgical Technique 5 : 25-30, 2015.
 7. 松村福広: 患者説明 整形外科看護 20(6), 2015.
 8. 松村福広: 【骨折治療の真実】大腿骨骨幹部骨折 ギャップはどこまで許されるのか. Bone Joint Nerve 5(3), 2015.
 9. 松村福広: Stryker infos 23 Spring:31-35, 2015.
 10. 松村福広: Stryker infos 24 Summer/Autumn:36-41, 2015.
- (3) セミナー・研究会・講演会
1. 小林倫子: 術後転位を来した掌尺側骨片を含む Volar Shaving Fractureの一例. 第1回3施設合同四肢外傷カンファランス, 東京, 2015, 8.
 2. 佐々木淳: 大腿骨転子部骨折. SOTC湘南外傷整形外科コース「下肢骨折」, 鎌倉, 2015, 9.
 3. 佐々木淳: 腿骨幹部骨折. SOTC湘南外傷整形外科コース「小児骨折」, 鎌倉, 2015, 11.
 4. 佐々木淳: 手部軟部組織再建の時期を逸した2例. 第4回重度四肢外傷microsurgery meeting, 埼玉, 2015, 11.
 5. 鈴木崇史: 下腿遠位開放骨折における軟部組織
-

-
- 再建のありかた. 第16回神奈川骨折治療研究会, 横浜, 2015, 6.
6. 土田芳彦: 重症下腿開放骨折の骨・軟部再建のあり方. 第1回東北四肢外傷治療セミナー, 仙台, 2015, 2.
 7. 土田芳彦: Distal radial fractures-which to fix? How to fix?/Radiation hazards./Distal radial fractures. / Management of open fractures. / Summary (case-based comment). AOT Course Kobe, 新神戸, 2015, 2.
 8. 土田芳彦. FIX and FLAPのあり方/温存か切断かの判断. 重度四肢開放骨折を語る会in名古屋, 名古屋, 2015, 3.
 9. 土田芳彦: 救急医療における整形外科の役割(下肢開放性骨折治療の実際). 第17回埼玉成恵会病院救急症例検討会, 埼玉, 2015, 3.
 10. 土田芳彦: 重度四肢開放骨折の標準的治療〜デブリフドマン・創管理(NPWT)から再建まで. 第1回北九州Ortho Plastic Seminar, 北九州, 2015, 3.
 11. 土田芳彦: 日本における外傷治療の現状と諸外国との比較. The7th Masters Fracture Forum Japan, 東京, 2015, 5.
 12. 土田芳彦: 肩甲骨骨折/肘関節脱臼骨折. SOTC湘南外傷整形外科コース「上肢骨折」, 鎌倉, 2015, 5.
 13. 土田芳彦: mangled handを如何に救済するか? 第2回JSETS日本重度四肢外傷シンポジウム, 札幌, 2015, 7.
 14. 土田芳彦: 脛骨骨欠損治療を如何に治療するか? 東日本骨軟部組織損傷研究会, 東京, 2015, 7.
 15. 土田芳彦: 指尖部損傷/mangled hand. SOTC湘南外傷整形外科コース「手部外傷」, 鎌倉, 2015, 8.
 16. 土田芳彦: 軟部組織再建の考え方 原則を抑える. The2nd Ortho Plastic Seminar in関西, 大阪, 2015, 9.
 17. 土田芳彦: Principles in treating articular fracture in the hand./Useful pedicle or free flap of the upper extremity. AOT Hand Course Sapporo, 札幌, 2015, 9.
 18. 土田芳彦: 足関節骨折. SOTC湘南外傷整形外科コース「下肢骨折」, 鎌倉, 2015, 9.
 19. 土田芳彦: FIX and FLAP最近の話題. 第6回 Technical Learning Course for Fix and Flap Surgery, 川崎, 2015, 10.
 20. 土田芳彦: 多発外傷における骨折治療(骨盤骨折も含める). 第10回日本骨折治療学会研修会ベーシック, 横浜, 2015, 10.
 21. 土田芳彦: 上肢開放骨折ー機能肢温存のための必須条件. 第7回日本骨折治療学会研修会アドバンス, 横浜, 2015, 10.
 22. 土田芳彦: 重症上肢(四肢)外傷の治療〜外傷治療における手外科医の関り方. 中国四国手外科研究会, 米子, 2015, 10.
 23. 土田芳彦: こうすれば治るー運命を分ける重症開放骨折治療. TMED Kamakura, 横浜, 2015, 10.
 24. 土田芳彦: 私が考える重症開放骨折治療哲学./NPWTはどうあるべきか?/血行再建のあり方./皮弁のピットホール. 重度四肢外傷セミナーin岡山, 岡山, 2015, 10.
 25. 土田芳彦: 重症四肢外傷治療標準化への戦い「私が外傷整形外科専門施設を構築したい理由」. 第11回鹿児島外傷セミナー, 鹿児島, 2015, 11.
 26. 土田芳彦: 骨再建法と軟部組織再建法のあり方・温存か切断かの判断. 第2回九州重度四肢外傷治療セミナー, 福岡, 2015, 11.
-

-
27. 土田芳彦：小児骨折治療のキホン事項. SOTC湘南外傷整形外科コース「小児骨折」, 鎌倉, 2015, 11.
 28. 土田芳彦：重症四肢外傷における感染症危機管理. 第9回四国外傷治療研究会, 高松, 2015, 11.
 29. Tsuchida, Y.: Tibial plateau fractures. AO Trauma Basic Principles of Fracture Management, Davos, 2015, 12.
 30. 松村福広: 足関節Syndesmosisの固定法. 5th Zimmer Trauma Symposium, 品川, 2015, 1.
 31. 松村福広：大腿骨転子部骨折の治療up to date. 第3回福島整形外傷研究会, 郡山, 2015, 1.
 32. 松村福広：意味のあるケースディスカッションとは？第2回中国Trauma Open Conference, 岡山, 2015, 2.
 33. 松村福広：診療ガイドラインから見た大腿骨近位部骨折. 第56回JABO研修会, 品川, 2015, 2.
 34. 松村福広: Faculty. AO Trauma Combined Courses, 神戸, 2015, 2.
 35. 松村福広：脛骨遠位部骨折に対するプレート固定. 第2回関西運動器外傷セミナー, 大阪, 2015, 2.
 36. 松村福広：骨折の保存治療Tips&Pitfalls. 第324回福岡臨床整形外科医会教育研修会, 福岡, 2015, 3.
 37. 松村福広: 鎌倉キックオフセミナー, 鎌倉, 2015, 3.
 38. 松村福広：上腕骨遠位端骨折. SOTC湘南外傷整形外科コース「上肢骨折」, 鎌倉, 2015, 5.
 39. 松村福広：大腿骨近位部骨折に対する外科的治療の最前線. Fragility Fracture Seminar, 名古屋, 2015, 5.
 40. 松村福広：大腿骨遠位端骨折ロッキングプレート固定法. Stryker Fracture Management Seminar, 名古屋, 2015, 5.
 41. 松村福広：Far Cortex Locking Screwの特徴とその可能性“大腿骨遠位部骨折を中心に”. 第41回日本骨折治療学会イブニングセミナー, 奈良, 2015, 6.
 42. 松村福広：高エネルギー損傷による大腿骨転子下骨折治療～成功の秘訣～. Stryker Hip Fracture Symposium, 東京, 2015, 7.
 43. 松村福広：下腿遠位部骨折（Pilon骨折）の治療戦略—足関節骨折（果分骨折）の治療戦略. 第2回三河骨折セミナー, 名古屋, 2015, 7.
 44. 松村福広：高エネルギー損傷による大腿骨転子下骨折治療～成功の秘訣～. Stryker Hip Fracture Symposium, 名古屋, 2015, 7.
 45. 松村福広：人工股関節・大腿人工骨頭周囲骨折に対する治療戦略. Zimmer Trauma Peri-rosthetic Fracture Advanced Seminar, 名古屋, 2015, 8.
 46. 松村福広：大腿骨転子下骨折. / 大腿骨遠位部骨折. / 脛骨遠位部骨折. SOTC湘南外傷整形外科コース「下肢骨折」, 鎌倉, 2015, 9.
- (4) その他
- カンファレンス
- 術前術後カンファレンス
- 毎週（月）～（土）7時
- 院内開催セミナー
1. SOTC湘南外傷整形外科コース「上肢骨折」
2015年3月21日（参加80名）
 2. SOTC湘南外傷整形外科コース「手部外傷」
2015年5月16日（参加75名）
 3. SOTC湘南外傷整形外科コース「下肢骨折」
2015年9月26日（参加50名）
 4. SOTC湘南外傷整形外科コース「小児骨折」
2015年11月21日（参加40名）
-

-
5. 手術室看護師のための整形外傷セミナーin湘南
2013年11月30日（参加75名）
 6. 湘南外傷セミナー外傷整形外科看護師に必要な
基礎知識 2015年3月21日（参加115名）